

令和3年度 第3回学校運営協議会議事録

日時：令和4年2月19日（土）14:00～15:00

場所：大阪府立茨木高等学校 視聴覚教室

出席者：【 委 員 】添田晴雄、岩井八郎、柴田仁、中村卓、樫本佳子、乾麻里

【校長・事務局】山上浩一、山脇和美、門野良彦、本管克江、森登紀子、森佳希、
藪麻智子、都浩司

1. 校長挨拶

2. 議事

- ① 令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）について
- ② 令和3年度学校経営計画及び学校評価（案）について
- ③ 令和4年度学校運営協議会の日程について
- ④ その他

<校長挨拶>

・ 前回の学校運営協議会からここまでの学校行事等の報告と今後の予定

10月31日（日）文化祭、11月24日（水）～27日（土）宿泊野外行事については、感染防止対策を講じ、工夫をしながら実施できた。1月21日（金）妙見夜行登山は新型コロナウイルスの急激な感染拡大のため中止、今後年度内に代替行事を計画中。3月1日（火）卒業式、3月4日（金）音楽会についても感染防止対策を講じながら実施予定。

<議事>

① 令和4年度学校経営計画及び学校評価（案）について

事務局：令和4年度からの変更点として、まず、中期的目標の最初に、3年間の生徒育成計画としての「北辰プロジェクト」を位置づけた。以下、1（1）アでは課題研究等について「文理融合」の語を追加、2（1）「部活動を通じて」を「部活動・学校行事等を通じて」、2（2）「グローバルに視点を置いた取組み」を「グローバル社会に対応できる人物の育成のための取組み」と変更、2（2）ア国際交流行事について「SDGsの視点も踏まえ」を追加、4「学校の組織力」を「学校の教育力」に変更、4（1）「危機管理能力」を「危機管理意識」に変更、4（2）「新学習指導要領及び観点別評価の実施」を追加、4（3）「教育環境の整備」を追加した上で、「教員の健康を守るため、教育環境の整備を図るとともに学校運営の在り方を見直し、時間外在校等時間の縮減に努める。」とした。

委 員：「組織力」を「教育力」に変更した意味は何か。

事務局：「組織力」は基本で、それが実現できた上に、という意味で「教育力」に変更した。

委員：「組織としての教育力」のほうがよいのではないか。

委員：「北辰プロジェクト」を改めて確認したのはなぜか。

事務局：生徒を育成する計画としての、教員の目線合わせとして位置付けるためであり、教員だけでなく、生徒にも提示をして、意識させることも定着してきている。

委員：「生徒自らがSDGsの視点も踏まえ」とあるが、どのような機会に意識させるのか。

事務局：各行事や教科学習等、あらゆる機会に、と考えている。

委員：「グローバル社会に対応できる」では、受け身的ではないか。「グローバルな視点をもって」とした方が、主体性が出てよいのではないか。

事務局：いただいたご意見、ご助言を、令和4年度の学校経営計画に生かすよう努力する。

＊「令和4年度 学校経営計画及び学校評価（案）」の「めざす学校像」、「中期的目標」について、承認。

② 令和3年度学校経営計画及び学校評価（案）について

＊今年度の取組みについて、事務局より説明。課題研究のユニークな「タイトル」の研究について、委員より内容についての質問等があった。

委員：課題研究は、そのタイトルを見ているだけでも、大変興味深く感じる。ぜひ、研究したことを、学校内だけでなく、地域に発信してほしい。

事務局：今年度、GLHSでは、課題研究等について地域拠点としての発信の役割が求められ、校内発表会を他校へもご案内させていただいた。

委員：学校関係だけでなく、地域の方々に広く発信する機会があれば、生徒たちも自分たちの学んだことで、地域貢献ができる、という経験になるのではないか。

事務局：実際に、今年度の研究には、地域とつながる可能性のあるものもあった。今後、どのような発信ができるのか、検討したい。

委員：小学校では、地域を散歩させて、自分たちの学習テーマを決めさせるということもあるようだ。また、防災という視点では、昼間に災害等が起きたとき、地元の中高生にどのようなことができるか等、「昼間の防災」を考えることも、学んだことがコミュニティにつながる例である。

委員：リーダー育成プログラムⅠについて、コロナ対策等で、生徒たちが主体的に考えるプログラムはあったのか。

事務局：緊急事態宣言の発出等により、クラブ代表者会議を開くこと自体がなかなかできなかった。しかし、生徒の厚生委員会等の活動で、その時期に特に必要とされる感染防止対策について生徒全体への注意喚起等を行うことができた。

委員：コロナ禍においても、さまざまなことにチャレンジできるよう、生徒の背中を押すようなしくみ（プログラム）があればよいと思う。

委員：今年度、臨時休業になった時には、オンライン授業等を実施したのか。

事務局：8月下旬から9月上旬にかけて、何日か臨時休業を実施したが、その際は、「授業日数」の関係上、3年生にオンライン授業を実施した。

委員：「学校教育自己診断」の「生徒版」について、特に3年生の「肯定的」回答が際立っているということであるが、保護者の立場から何かご意見はあるか。

委員：保護者の立場からすると、学校行事等に参加する機会も少なく、学校の様子がわからなかったのが辛かった。

事務局：新型コロナウイルスの感染防止対策として、保護者の方に参加していただけなかったり、人数を制限せざるを得なかったりということが多かった。今後も、新型コロナウイルスの状況を踏まえながら、どのようにすれば保護者の方にもご参加いただけるか、工夫をしていきたい。

委員：「学校に行くのが楽しい」という設問に対する「肯定的」回答率が高いのは、自分たちは、学校に勉強だけをしに行くのではない、学校には新しい世界がある、という感覚があるのではないか。

事務局：コロナ禍の中で、みんなで一緒に頑張ってきた、という気持ちが強いことも一因ではではないかと思われる。

委員：コロナ禍で、できないことがいろいろあったけれど、その中でも、自分たちが、なんとかやり遂げてきたことに対する喜びもあるのではないかと思う。

委員：「学校生活についての先生の指導には納得できる」という設問に対する「肯定的」回答率が高いことも合わせて考えると、コロナ禍の中、先生とのつながりが深かったことも、学校へ行くのが楽しい、と思うことにつながっているように思える。

事務局：今後、生徒たちの意識がどのように変化していくのかを、しっかり観察していきたいと思う。

③ 令和4年度学校運営協議会の日程について（予定）

第1回 令和4年6月11日(土) 14:00～16:00

第2回 令和4年10月8日(土) 14:00～16:00

第3回 令和4年2月18日(土) 14:00～16:00